





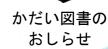








1・2ねんせい





## 「読書する子はあたまがよくなる」は本当?

むかしから、こう言われてきましたが、大学で頭の科学をちょうさした結果

「一日10分以上読書をする子どもは、しない子にくらべて、上位の成績を

**とっている」**ことが分かりました。これは、読書中にあたまの中の「ぜんとうぜんや」が がっぽう 活発になり、文章を理解する力に必要なしんけい回路が強くなるからです。

ー日に2時間はつかれてしまうので、10分から1時間の読書をしてみてください。





がみ、じしょ
紙の辞書とパソコンの辞書で、ことばを調べる作業をすると、一分間で調べられた。 ことばの数は、紙の辞書が3つ、パソコンの辞書が5つでした。ところが、その時の あたまの中の脳の働きを比べると、脳が活発に働いていたのは紙の辞書の方でした。 みなさんは、これからどんどんあたまもからだも成長していきます。

ぜひ、たくさん紙の本を読んで、あたまに良いしげきをあたえてください。

※電子しょせきとは・・・パソコンで読むことのできる本。





とうほくだいがくじゅんきょうじゅ こうぎ 東北大学准教授による講義

のうかがく てきけんち 「脳科学的見地からとらえる読書の効用」参照

「アザラシのアニュー」

「ごめんねでてこい」

「おちびさんじゃ ないよ」 「どうやってできる の?チョコレート!

3 • 4 年 牛



「いつかの約束1945」

「さようなら プラスチック・ストロー」 「じゅげむの夏」

「聞いて聞いて! 音と耳のはなし」

5 • 6年生



「ぼくはうそをついた」

「ドアのむこうの国への パスポート」

「図書館がくれた

宝物」

「海よ光れ!3.11 被災者を励ました 学校新聞」